

STAGE+を楽しむ(353)(HP 収載)
—ショパンのスケルツォとバラード—

1. 始めに

前報(352)に引き続き、STAGE+のニコラス・エコノムのショパンのスケルツォとバラードの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(352)に引き続きニコラス・エコノムのショパンのスケルツォとバラードの演奏を選びました。

ニコラス・エコノムの奏でるショパン
コンGRESザール (1984年)

収録日: 1984年7月14日

ニコラス・エコノムは、16歳にしてチャイコフスキー国際コンクールに出場、スヴャトスラフ・リヒテル、チック・コリア、マルタ・アルゲリッチとの共演を果たすなど圧倒的な才能を示しつつも、40歳という若さで交通事故により逝去したピアニストです。本映像ではそんな彼の才能をじっくりとショパンでお楽しみいただけます。スケルツォにバラードというショパンの作品の中でも特に重要なものが演奏されており、エコノムの技術の高さ、そして表現力の奥深さをお聴きいただけるものとなっています。

ソリスト:

ニコラス・エコノム (ピアノ)

フレデリック・ショパン

スケルツォ第2番変ロ短調 op. 31

バラード第1番ト短調 op. 23

バラード第2番ヘ長調 op. 38

バラード第3番変イ長調 op. 47

バラード第4番ヘ短調 op. 52

ヨハン・セバスティアン・バッハ

前奏曲とフーガ 嬰ハ短調 BWV 873 (平均律クラヴィーア曲集第2巻より)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力には ABS-7777 を適用しています。

この収録は、前報(352)のアルバムと同一の演奏のようで、アルバムにはないバッハの前奏曲とフーガ嬰ハ短調も含まれています。

前報(352)のアルバムの印象は、Scherzo No. 2 の力強い打鍵で始まり、Ballade No. 1 から Ballade No. 4 まで、抑揚、強弱、緩急自在にバラードの文字通り感傷的で詩情を表現するピアノズムが展開されていましたが、本ライブ収録も同様の演奏で、音質的には

アルバムよりクリアーでメリハリがはっきりしています。

バッハの前奏曲とフーガ嬰ハ短調は、アンコール曲で静かな優しい曲です。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、前報 (352) のアルバムの印象同様、抑揚、強弱、緩急自在の詩情を表現していますが、音質的にはアルバムよりクリアーでメリハリがはっきりしています。

以上